

留 学 報 告 書

記入日:2017年3月26日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: オレゴン大学 現地言語: University of Oregon
留学期間	2016年9月～2017年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年3月26日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料	17,248	1,724,800 円	受講するクラスの数や、クラスによって異なる。
宿舍費	7,920	792,000 円	ルームタイプや、ミールポイント数によって異なる。
食費	200	20,000 円	宿舍費に含まれているミールポイントを使って日々の食事をしていたので、外食をしない限り、かからない。
渡航旅費	600	60,000 円	冬休み中は、シアトルに友達が住んでいたのので、その友達の家泊めてもらいました。なので、滞在費は旅費に含まれていません。
その他	1,600	160,000 円	
合計	27,568	2,756,800 円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
大学寮	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数1)	
3)住居を探した方法:	
大学側が決めます。	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
個室と相部屋がありますが、個室の数は圧倒的に少ないので、個室を希望しても相部屋になってしまうことが多いです。そしてどの部屋も基本的に狭いので、相部屋の場合、お互いのプライベートな環境を部屋の中で作ることはできません。ルームメイトとは、まず初めに様々な部屋でのルールを決めることをお勧めします。作らないと平気で深夜に友達と電話をしながらゲームをやりだすといったことも起こります。	
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した: 予防接種のため。	
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
特に利用する機会はありませんでしたが、相談窓口はあります。	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
インターネットや現地の友人などから情報を収集していました。自転車の盗難が多かったので、自転車を所持している生徒は、U字ロックと呼ばれる頑丈な鍵を使っていました。(これでない、鍵を壊されて盗まれます。)これに関しては盗まれても自己責任と言われてしまいます。	
4)パソコン, 携帯電話, インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
Wi-Fiは基本的に学内であればどこでも使えますが、たまに接続が不安定になることがあります。町の中では、使える場所と使えない場所があります。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
クレジットカードのみでした。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
爪切り、耳かきなど。	
7)授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った, 渡航前に留学先大学から指示があった, 渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
両親が日本銀行から、Flywireという学費の支払いを仲介してくれる会社宛に支払ってくれました。クレジットカードでも支払い可能ですが、自分のクレジットカードでは上限があったので高額な学費は支払うことができませんでした。	
卒業後の進路について	
留学を通して生じた, 今後の進路についての考えについて教えてください。	
アメリカになくて日本にないもの、逆に、アメリカにあるが日本にないものなどに注目して留学期間を送ってきました。この経験を活かし、お互いの国にとって利益になるようなものを発信、受信するような職に就きたいと思うようになりました。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Linguistics 150(Structure English Word)	言語学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が3回
担当教授	Krishana Boro
授業内容	英語の歴史や、仕組みについて学ぶ授業です。
試験・課題など	課題は、学校のホームページに Canvas と呼ばれる項目があり、そこから毎週授業の内容に沿ったチュートリアルと呼ばれるクイズのようなものを受けます。間違えても何回もやり直しができるので、なるべく満点を取るようにすると良いと思います。試験は、中間試験と期末試験に加えて、クイズが2週間に1回のペースでありました。テストがたくさんありますが、範囲が狭いのでそこまで苦ではありませんでした。
感想を自由記入	課題は何回も解き直しができるので満点が取れ、試験もそこまで難しく作られていない、且つ、記述式の問題に関しては採点が甘いため、大事だと思う部分をしっかり暗記さえすれば高得点が取れるものでした。また、授業の内容も、英語学習において非常に役立つものだったので良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Women's and Gender Studies 101 (Intro Women&Gender Studies)	ウィメン アンド ジェンダー学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が2回
担当教授	Jamie Mayhew Bufalino
授業内容	女性の権利や差別などの社会的に問題視されていることに関して、年齢や人種などの違いも踏まえながら考えたり、LGBT の人々の権利について考える授業でした。また、そのような問題に対して実際に社会が行っている運動などについても学ぶ授業でした。
試験・課題など	課題に関しては、2~3枚のエッセイが3回分ありました。また、毎週20ページほど、指定の教科書からリーディングの課題がありました。毎週、読んだ内容からディスカッション授業の初めに確認テストがあるので、事前に読んでおかないと点数が取れない上に、周りの生徒とのディスカッションにもついていけなくなってしまいます。試験は、中間と期末があり、どちらもエッセイ形式の問題数問によって構成されている試験でした。5インチ×7インチの紙を持ち込みすることができました。

感想を自由記入	自分が知らなかったジェンダーに関する問題や考え方を学べたので、将来社会に出て働く中でとても役立つことが学べたと思いました。授業を通じて、自分たちが何気なく見ている CM などにも、女性への偏見につながるようなものがあるという事実を知って驚くことも多々ありました。しかし、授業的に、女性の生徒がとても多く、自分のディスカッションのクラスでは、自分以外全員女子生徒だったので、少し発言はしにくかったです。
---------	--

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Studies 101	国際学 101
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が2回
担当教授	Garen Martine
授業内容	メディア、食料自給率、紛争などの世界に存在する様々な問題についての基本的な知識を学ぶ授業でした。
試験・課題など	課題は、毎週リーディングの課題と、リサーチプロジェクトというエッセイが 1 つありました。リーディングは読まない、授業についていけなくなるのと、試験勉強の際に困ります。エッセイは 1 つだけですが、色々と参考文献に制限があったり、決められた形で順番にやっていかなければならなかったりしたため、大変でした。試験は計 3 つありました。形式は選択肢と記述が半々でした。他の授業の場合、期末試験は final week と呼ばれるテスト専用の 1 週間で行われるのですが、この授業では、テストは授業内で行われました。
感想を自由記入	自分たちが普段ニュースでは見られないような世界問題を知ることができて、世界の現状について考えさせられました。例えば、現代のメディアがどれだけ本来報道すべき深刻なニュースを報道せずに、視聴率を稼ぐためなどの理由であまり重要でないことを報道しているのかなどといったことにも気づくことができ、とても勉強になりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Political Science 201(US Politics)	政治学 201 (アメリカ政治)
科目設置学部・研究科	
履修期間	2016 冬学期
単位数	4
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ウェブ(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Michael Faherty
授業内容	アメリカの政治の基礎を学び、その基礎をもとにアメリカが政治に関して抱える問題について考えるという内容でした。アメリカの政治の仕組みが全く分からない状態でも理解できる内容になっています。
試験・課題など	試験は、中間、期末試験があり、中間は選択肢と記述(選択肢 80%、記述 20%)、期末は全て選択肢の試験でした。課題は、毎週、教授から与えられたテーマについて指定の教科書の内容を踏まえて、250~300 字程度のエッセイを書くものがありました。
感想を自由記入	政治に関して、あまり自信がなかったのですが、大統領選に対してものすごく熱い思いを持っていた現地の学生に感化されて受講しました。Web 授業では、教授のショートレクチャーがネット上に掲載されるため、自分のペースで勉強できて良かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Psychology 201 (Mind and Brain)		心理学 201 (心理と脳)	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2016 冬学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が2回		
担当教授	Margaret Sereno		
授業内容	心理学の基本を学ぶ授業です。人間や動物の脳がどのようにそれらの行動に結びつくのかということを中心に学ぶ授業です。		
試験・課題など	課題は毎週、インターネット上でクイズのようなものを解きました。教科書を参考にしながら授業の予習として課題に取り組みました。試験は計 4 回、2 週間に 1 回ペースで実施されました。全て選択式でした。また、学校内で行われている心理学の実験にも参加することが求められました。		
感想を自由記入	毎週宿題として行う Web 上のクイズをしっかりとやることによって授業の内容も飲み込みやすく、今まで学習したことのない分野だったのでとても刺激的でした。脳に関する勉強をするので、少し生物の勉強のような部分もありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
History 192 (Japan Past&Present)		歴史 192 (日本の過去と現在)	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2016 冬学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が2回		
担当教授	Jeffery E. Hanes		
授業内容	日本の歴史を日本人の誕生から、現在に至るまで学習します。		
試験・課題など	課題は、エッセイが2つありました。どちらも指定の本を読んで、それを参考に書くものでした。試験は、中間と期末試験がありました。ショートアンサークエスチョンとエッセイ形式の試験でした。試験前に、出題される問題を教えてもらって、その中から何題か出題される形式でした。		
感想を自由記入	日本の歴史をたった 10 週間の授業で行うので、ものすごく進度は早かったです。歴史の内容は日本で習うこととあまり変わりませんでしたが、ディスカッションで様々な国の人々と話してみると、面白い発見ができました。現代の日本を学習する授業では、意外と日本人であっても見逃してしまっている他国から見た日本の顔に気づくことができるので、国際日本学部の学生には良い授業だと思いました。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	TOEFL itp のための勉強をしました。
4月～7月	TOEFL 用の単語の勉強。
8月～9月	TED などでリスニングの練習。
10月～12月	TOEFL ibt 受験。オレゴン大学に出願。留学の面接。
2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	自分が今まで勉強してきた英語が、どれだけアメリカで通用するのか試してみたかったというのと、今まで一度も親元から離れたことがなかった自分にとっては、良いチャレンジであると思ったからです。また、英語をツールとし色々な考えを学びたいと思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	TOEICやTOEFLのリスニング教材などだけでリスニングの勉強をするのではなく、海外ドラマ(特に学校が舞台になるようなもの)などを見て、ナチュラルな英語表現などに聴き慣れておけば、もっと初めから会話をスムーズに行えた気がしました。また、政治に関しての意見を聞かれる場合もあります。基本的な政治の知識は持つておくと良いと思います。また、バイリンガルさんなど、YouTube でアメリカの生活に関してのアドバイス動画などを投稿している方の動画を予め観ておけば良かったと思いました。
この留学先を選んだ理由	大きな理由としては、4年制大学で留学期間が他のアカデミック留学の留学先よりも留学期間が長かったことです。そして、授業の種類がとても豊富で、国際日本学部にいるだけでは学べないような分野がとても多かったからです。また、学校内の設備もとても充実していて、自然も多く、友人と身体を動かして仲良くなれるような場所が多く、仲良くなりやすいと思いました。寮にはたくさんのダイニングもあり、ミールポイントと呼ばれる食事を買うためのポイントが1週間ごとに更新されるので、食に困ることが無いと思ったのも理由のひとつです。
大学・学生の雰囲気	大学は、端から端まで歩くと25分ほどかかるくらいの広さです。自然も多く、建物も比較的綺麗な建物ばかりで、勉強する環境としてはとても気持ちの良い場所でした。個人的には、学内にあるジムで、筋トレ、ランニングマシン、プール、テニスコート、体育館などを無料で使用できたのはとても良かったです。学生はネイティブの学生が多いですが、留学生もたくさんいました。普段は比較的静かですが、金曜日は現地の学生にとっては思いっきり遊ぶ日なので、夜遅くまで盛り上がっていました。また、大統領選のときには、学生の集団が学内でデモを行っている様子も見られました。
寮の雰囲気	初め、BeanのDebuskと呼ばれる寮に住むことになりました。そこは正規の寮ではなく、正規の寮に入ることが出来なかった学生が、一時的に滞在する寮でした。秋学期を終えた後に、ハミルトンという正規の寮に空きが出来て移ることになりました。荷物を別の部屋に運ばなければならなかったのが、少し面倒でした。ルームメイトに関しては、正直、当たり外れがあります。何度注意しても、深夜に友達と電話をしながらゲームをするといったこともあります。部屋も狭くプライベートスペースは無いので、始めの段階でルールをしっかり作る必要があります。あまりにもルームメイトとの距離が近距離なので部屋で勉強がやりにくい気がしました。その反面、一緒に生活するという事は、ルームメイトの国の文化を深くまで知ることができる機会でもあるので良いと思いました。
交友関係	寮に滞在すると、同じ寮に住む人々が集められて、ミーティングが定期的に行われます。その機会を利用して友人を作ることもできます。また、学校内でも日本の大学内ではあまり考えられない規模のパーティが定期的に行われるので、そこでも仲良くなれます。また、学外でもxaiと呼ばれる団体のイベントも毎週金曜の夜にあったので、通ってみると良いと思います。授業内では、少人数クラスの場合は仲良くなれますが、自分は大人数の講義のクラスが多かったため、あまり仲良くなれませんでした。
困ったこと、大変だったこと	自分は冬休み中にアメリカに住む友人宅に泊まり、旅行する予定があったので、特に問題はありませんでした。冬休み中は寮を追い出されます。また、12月24日と25日はクリスマスということで、スーパーを含めたほとんどの店が休業をされていて、ご飯を買うのに物凄く困ったので、予め食料を買っておくと良いと思います。最初のルームメイトは良かったのですが、新しい寮のルームメイトがうるさく、更に扉にずっと鍵を挿しっぱなしにしているのが大変でした。軽く注意するだけでは、全く改善しようとしないので、強めに言うようにしていました。それでも改善されずに寮のリーダーに報告して、注意してもらっても改善されない場合はルームチェンジが出来るので、した方が良いと思います。
学習内容・勉強について	会計学を専攻する予定でしたが、様々な条件があったせいで受講することができませんでした。なので、純粋に興味を持った様々な分野を受講しました。例えば、私は、現地の学生で政治に対して熱い思いを持っている人物に出会ったのをきっかけに、政治学を受講しました。政治の知識はあまりなかったのですが、web授業だったこともあり自分のペースで勉強できました。読まなければいけない文献はたくさんありましたが、自分が興味を持った分野であることと、英語力の向上に繋がると考えていたのであまり苦ではありませんでした。

課題・試験について	課題は日本の大学に比べると、圧倒的に多いです。自分の受講したクラスでは、文献を読む課題とエッセイを書くことが多かったです。英語力を伸ばしたいと思っている人にとっては、とても良い機会になると思います。試験は、自分が受講したクラスの場合、中間と期末以外にも複数回行われるクラスが多かったです。そのため、常に試験のための勉強をしていた気がします。受講するクラスにもよりますが、どのクラスでも深く理解出来るまで学習することができます。
大学外の活動について	キリスト教の布教をしている団体が定期的にイベントを開催していたので、参加していました。布教と言っても、考えを押し付けてくるような団体ではなく、イベントの中で様々な国の人々と交流することがメインだったので、楽しむことができました。
留学を志す人へ	海外の大学に行くと、日本の 1 つの学部だけでは学べないたくさんの学部の中から授業が選べます。自分が、心の片隅で本当はこんなことがやりたいけれど現実を見て諦めてしまった、などといった自ら放棄してしまった夢にも向き合って、チャレンジすることが出来ると思います。世間体などを気にせずに自分の夢を考えたときに、本当は何をしたいのかを考えてみて、それを思いっきり楽しむつもりで留学にチャレンジすると良いと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	課題	学内のジムで運動	課題	学内のジムで運動			学内のジムで運動
				Web 授業 (Political Science)			
午後	授業 (Psychology)	授業 (History)	授業 (Psychology)	授業 (History)	課題	課題	課題
		授業 (History Discussion)				友人と食事	
夕刻	課題	友人とテニス	課題	課題	交流会	友人とラウンジのテレビで映画などを見る	Youtubeなどで、海外で役立つ情報収集
夜	課題	課題	課題	課題	交流会	課題	課題